

3 月 23 日は世界気象デー

今年のテーマは、「雲を理解する」
“ Understanding Clouds ”

世界気象デーとは

世界気象機関(WMO)は、1950 年(昭和 25 年) 3 月 23 日に世界気象機関条約が発効したことを記念し、毎年 3 月 23 日を世界気象デーとしてキャンペーンテーマを設け、気象業務への国際的な理解の促進に努めています。

今年のキャンペーンテーマは、「雲を理解する」です。

原文は“Understanding Clouds”

今年のキャンペーンテーマについて

雲は、日々の天気に変化をもたらすように、私たちの日常生活と非常に深い関わりのある存在です。また、その形・姿の多様さ・美しさ故に、古くから多くの人々を魅了してきた存在でもあります。今回のキャンペーンにあわせて、WMO は 30 年ぶりに、気象学における雲の分類基準を示した国際雲図帳(International Cloud Atlas)を改訂・公開します。今年のテーマには、これを記念する意味も込められています。

一方で、雲は時に激しい気象現象をもたらし、気象災害を引き起こす原因にもなります。また、長期的な視点からは、気候変動にも大きな影響を与えることが知られています。そのため、「雲を理解する」ことは、気象防災や気候変動の対策等を行う上で非常に重要です。しかし残念ながら、雲に関わる詳細な物理過程はまだ分かっていないことが多く、気象・気候予測の精度に大きく影響を及ぼす不確定要素の一つとなっています。気象庁は、「雲を理解する」ことをはじめ、より高度で先進的な技術開発に取り組むことを通じ、今後もより精度の高い情報の提供に努めてまいります。

WMO はこのキャンペーンについてウェブページを公開しています。

<https://public.wmo.int/en/WorldMetDay2017>

世界気象機関（World Meteorological Organization : WMO）の概要

設立目的 気象業務に関する国際的な調整・標準化・改善や、気象情報
の交換促進

設立 1950 年（昭和 25 年）3 月 23 日

事務局所在地 スイス・ジュネーブ

加盟構成員 185 か国・6 地域
（我が国は 1953 年（昭和 28 年）に加盟）

ホームページ <https://public.wmo.int/en>



WMO ビル（スイス・ジュネーブ）

問い合わせ先： 総務部企画課国際室

電話： 03-3212-8341（内線 2267）